

感染性胃腸炎（特にノロウイルス）にご注意！

冬に流行 — 食中毒は夏だけではありません！ —

食中毒といえば「夏」のイメージがありますが、**ノロウイルス**が原因とみられる**感染性胃腸炎・食中毒**は、一年を通して発生しており、特に**冬季**に多く発生しています。

11月頃から発生件数が増加し始め、12月から翌年の1月頃にピークを迎える傾向があります。

強力な感染力 — 食べ物以外からも感染 —

感染のしかたは、ほとんどが**経口感染**ですが、**ノロウイルス**は**感染力が強く**、ごく少量のウイルスでも人に感染し、発病します。そのため、食品以外にも、**ウイルスの付着した手指など**を介しても感染します。

症状 — 高齢者や幼児は注意 —

症状としては、**吐き気、おう吐、下痢、腹痛**などです。通常は軽症で回復する場合がありますが、高齢者や小児などでは重症化したり、吐いた物をのどに詰まらせて死亡することがあるので、高齢者施設、保育所等での集団発生に、特に注意が必要です。

ワクチン、特効薬はありません！ — 予防対策・感染拡大防止対策が重要！ —

ノロウイルスにはワクチンがありません。ウイルスに効果のある特効薬もありません。治療は輸液などの対症療法に限られますので、普段からの予防対策、感染者が発生した時の感染拡大防止対策が重要です。対策について、越前町国民健康保険織田病院の感染管理認定看護師、高阪奈緒美さんに話を伺いました。

越前町国民健康保険
織田病院 高阪 奈緒美 氏

☆☆ 感染管理認定看護師からのアドバイス ☆☆

<感染予防のポイント>

手洗いが重要

- ・食事前、調理前、トイレの後、おむつ交換の後、帰宅後など、**流水と石鹸による手洗い**を行いましょ

食品の加熱

- ・ノロウイルスの汚染の恐れがある食品は、**中心部が85℃～90℃で90秒以上の加熱**をする。調理器具も消毒をし清潔を保ちましょ

吐物や排泄物の適切な処理と環境消毒

- ・処理時は**手袋やエプロン、マスク**などを着用し周囲に拡げないように消毒を行いましょ

<消毒薬の作り方のポイント>

- ・吐物処理用と器具・周囲環境用と濃度が違いますので、用途にあった作り方をましょ
- ・作成時は換気をし、手袋マスクエプロン等を着けましょ
- ・直射日光や高温は避けましょ
- ・容器には中身を明記し誤飲しないように気を付けましょ



もっと詳しく知りたい方は、
次の厚生労働省HPをご覧ください。

ノロウイルスに関するQ&A

検索



【担当】内容へのご質問やご意見はこちらへ

→ 福井県丹南健康福祉センター 地域保健課

Tel (0778) 51-0034 Fax (0778) 51-7804 E-mail t-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

配信希望（停止）はメールでご連絡ください。